

日蓮大聖人の言葉から学ぶ：名聞妙利は今生のかざり  
我慢偏執は後生のほだしなり

心を結ぶ本泉寺通信

# Musubi

Vol.05  
2023  
お盆号

## いま、改めて考える お墓のこと

〈好評連載〉

□本泉寺見仏記

お盆の季節到来

□盂蘭盆施餓鬼大法要

本泉寺トピックス

□お寺の掲示板

星の神様 妙見くんに聞いた

□干支九星吉凶予報

施餓鬼会の始まり

□阿難の物語

開山四百年慶讃

□浄財奉納者芳名



# 盂蘭盆施餓鬼

## 大法要

本年も本泉寺本堂に於いて

「盂蘭盆施餓鬼大法要」

を執り行います。

施餓鬼会の供養は全ての命  
に対して感謝をする大切な  
法要です。

檀信徒各位にはこの法要に  
ご家族でご参列いただきま  
すようご案内致します。

※本年新盆をお迎えになるご家族は必ずご参列ください  
※お塔婆建立をご希望の方はお早めにお申し込みください



盂蘭盆施餓鬼大法要に於いて経木塔婆供養  
を執り行います。  
ご希望の方は寺務所までご連絡下さい。

経木塔婆 一体 五百円

日時

八月五日（土）

午後二時より

場所

本泉寺本堂

### 施餓鬼会の始まり 阿難の物語

お釈迦さまの御弟子である阿難尊者が瞑想し  
ていると目の前に焰口餓鬼が現れました。

焰口餓鬼は「お前の寿命はあと三日。慈悲の  
心を持たず、布施もせず、むさぼりの心で生き  
てきたお前は醜い餓鬼となつて餓鬼道に落ちる  
であろう」と告げました。

驚いた阿難尊者は助かる方法は無いものかと  
お釈迦さまに尋ねました。

すると、お釈迦さまは「阿難よ。お前が現世  
で長寿を得て、来世で餓鬼道の苦しみから免れ  
たいのならば、施餓鬼棚を設けて山海の供物を  
供え、多くの僧侶に供養してもらいなさい」と  
教えられました。

阿難尊者はお釈迦さまの教えに従い、餓鬼の  
為に飲食を施し、供養のための法要を行うと、  
その功德によって焰口餓鬼達は救われ、阿難尊  
者は八十八歳という長寿を得たのです。



焰口餓鬼と阿難尊者



餓鬼に飲食を施す

『餓鬼草子』  
京都国立博物館蔵



# 開山四百年慶讃浄財奉納者芳名

令和5年3月

壺口 八潮市 緒方智恵子様 一回目 計壺口

令和5年6月

参口 八潮市 恩田勝廣様 一回目 計参口  
 壺口 八潮市 恩田操様 一回目 計壺口

奉納者名

参口 八潮市 恩田一夫様 一回目 計参口  
 参口 八潮市 滝口勝四郎様 一回目 計参口  
 式口 足立区 恩田明広様 一回目 計式口  
 式口 三郷市 恩田孝一様 一回目 計式口  
 壺口 朝霞市 川端登様 一回目 計壺口  
 壺口 葛飾区 恩田富美枝様 一回目 計壺口  
 壺口 三郷市 山後和義様 一回目 計壺口  
 壺口 八潮市 滝口義則様 一回目 計壺口

勸募期間 令和九年十月十二日まで  
 勸募金額 一口壺万円より

引き続き皆様の協力をお願い致します。

○お詫びと訂正 前号の奉納者芳名にて滝口義則様のお名前に一部誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

星の神様 妙見くんに聞いた

令和5年の  
下半年予報

## 干支九星吉凶予報



妙見くん ©



7 未月  
 大吉・卯、亥  
 吉・午  
 凶・丑、戌、子  
 午は未の力を得て勢いを増すことができるよ。戌は月破の作用が出て目的達成の邪魔をするから焦らず騒がずがベスト。



8 申月  
 大吉・子、辰  
 小吉・巳  
 凶・寅、巳、亥  
 寅は暗剣殺と刑の作用が出そう。準備している事柄に勢いがついて順調に見えるけど他者からの横槍が入るから注意してね。



9 酉月  
 大吉・巳  
 吉・丑、辰  
 凶・卯、戌、子  
 丑は周囲から高い評価を得ることが出来るんだけど、五黄殺の作用で天狗になりやすいから気を付けて。



10 戌月  
 大吉・午  
 小吉・卯  
 凶・丑、辰、未、酉  
 卯は悩み事が出るけど支合の作用で助け舟が出るよ。悩み事は誰かに相談して早めに解決しよう。



11 亥月  
 大吉・卯  
 小吉・未  
 凶・寅、巳、申  
 巳は仕事や家庭でのゴタゴタが起きそう。怒りに任せていると修復不可能な事態に発展しかねないから何事も冷静に。

五黄殺・北南  
 暗剣殺・北東  
 月破・東南

五黄殺・西  
 暗剣殺・東  
 月破・北東

五黄殺・南  
 暗剣殺・北  
 月破・東

五黄殺・北  
 暗剣殺・南  
 月破・東南



いま、改めて考える

# お墓のこゝと

そもそもお墓ってなに？

お墓とは、亡くなった方を弔う為の遺骨の収蔵場所であると同時に、亡き人の魂が宿る神聖な場所として、残された家族や親族が故人を偲び、その冥福を祈る為のシンボリックな存在です。

土葬が主流であった古代の日本では埋葬した場所に土を盛ってお墓としていました。

しかし、経年や風雨により、埋葬場所が分からなくなってしまうことからその上に目印となる石を置くようになったことが墓石の始まりとされています。

いく事の意義や先祖を供養することの大切さが見直されていきました。時代が進むと共に、お墓に対する意識は変わりつつあります。

お墓へお参りすることは時間と共に薄らいでいく故人と過ごした記憶を呼び起こし家族の絆を再認識することであり、自らの命の尊さを知る為の心の拠り所となる場所、それがお墓なのです。



お墓の掃除って  
どうやればいいのか？

お墓を掃除する時は合掌して「これからお掃除をさせていただきます」と心に念じてお題目を3回唱えましょう。

そして、墓石に水を掛けたら素手で汚れを落とすしていきます。(汚れが酷い時はタワシ等を使いましょう)その後、タオルで水と汚れを綺麗に拭き上げ「お掃除が無事に終わりました」とお題目を3回唱えて終了します。



お墓参りに必要な物はなに？

お墓参りに必要なものはお花とお線香です。仏様は花の上に腰を下ろして香食(香りをいただく)をされますので、花を供え香りのよいお線香を手向けるのです。

また、掃除用に未使用のタオルも持参すると良いでしょう。

お墓を掃除したタオルは雑巾ではなく「蔵金」と呼ばれる程、貴重なものとなるのです。





## お墓のメンテナンスはどうしたらいい？

ご先祖や大切な人を護るお墓は常に綺麗にしておきたい場所ではありませんが、長く使用しているとどうしても落ちない汚れや、花器や線香立てなどの破損が見受けられるようになります。

そのような場合は石材店に相談するのが良いでしょう。

最近では石を磨く技術や薬剤等の進歩もあって、大抵の汚れは綺麗にすることが出来るようになりました。

ご希望の方は寺務所までご連絡を。



## 後継者のいないお墓はどうなるの？

墓地は後継者がいない時点で無縁墓となります。その場合は墓地を撤去し墓地建立地を寺院へ返還しなければなりません。

また、お墓に収蔵している遺骨は無縁仏として無縁塔や永代供養墓へ改葬することになります。

墓地を撤去することはその家が絶える事と同義ではありませんが、これは致し方ありません。

墓地の後継者は自らの後に残る親族に、お墓が悩みの種として残らぬよう配慮しなければならぬのです。



## 墓じまいはどうしたらいいの？

墓じまいとは、後継者が居なくなつたお墓を解体し撤去するとともに、別の方法で供養することを指します。

また、お墓を解体撤去する場合はお墓の閉眼供養を行う必要があります。

閉眼供養とは、ご両親や先祖に対してお墓を閉めることをお詫びすると共に、以後は無縁仏として供養することの旨をお伝えする大切な法要です。

墓石の解体撤去にはある程度の費用もかかりますので、お考えの方は早めにご相談ください。



## お墓を守ることの大切さを知る

お墓を守る人（墓守）の最大の役割は、お墓の維持と管理にあります。

お寺が維持管理をしてくれるものと勘違いをされる方も多いのですが、墓守が定期的に訪れてお墓の周囲の掃除や状態確認などを行うのです。

墓守とは先祖に対し畏敬の念を持つて墓地を奉持し、もし、お墓を閉めるような事態になつたとしても、お詫びの心を持ち失礼のないよう最良の状態に墓じまいを行うことが墓守の大切な使命と言えるでしょう。

### 墓じまい相談室

- ・ 後継者がいない
- ・ 遠方への引越し

など、諸般の事情により墓じまいをお考えの方は本泉寺へご相談ください



〈連載〉

本泉寺見仏記

ていおうりゅうおうだいぜんじん  
帝旺龍王大善神

第4回



帝旺龍王大善神立像

像高 四十二cm

奥行 二十一cm

仏師 三代目木村鶴光作

龍は必ず袈裟を懸けたる僧を守護し給わん

宗祖日蓮大聖人『祈祷抄』

「龍王」とは、インドで古くから信仰されていた人面蛇身の神「ナーガラージャ」を漢訳したものである。

古代の中国に於いて、龍は水中や地中に棲むとされ、その啼き声によつて雷雲や嵐を呼ぶとされることから、水神と同一視されるようになる。

中国の龍が日本へ伝来すると、自然物や自然現象を神として崇拝する日本古来の信仰と融合し、河川の氾濫や旱魃は龍の仕業であるとして、食べ物や生贄を捧げる等の行事が行われるようになった。

仏教においては仏法を守護する天竜八部衆に数えられ仏法の守護神と考えられた。

法華經の序品には八尊の龍王が登場し、幾千万の眷属と共に釈尊の説法を聴聞し仏法守護の善神となる事が説かれており、日蓮宗の寺院では龍神や龍王の像が祀られている。

本泉寺の龍王像は二十八世日順が大荒行堂四行入行の際に感得した立像で、その名に冠する帝旺とは「頂点に位置する者」を意味し、東西南北を統べる龍の王であることを表している。

右手の剣は煩惱を断ち切る法剣であり、左手に持つ五行（木火土金水）の珠は、あらゆる祈願を成就する如意法珠である。

本泉寺では「水神相承」の允許をもって帝旺龍王大善神へ法味を捧げている。



## お寺の掲示板



### 敷石のご奉納

お檀家の恩田一夫様より墓地参道の敷石をご奉納いただきました。自家の墓前の敷石が狭く、墓参の際に他の方の邪魔になっているのではないかと思います。敷石を普請されました。他者の為にこのような行いをされる事は菩薩行の実践に他なりません。住職として厚く御礼申し上げます。

### 開運の小槌登場

大黒天のご利益をいただける開運小槌を本堂に設置いたしました。タコは「多幸」に通じ、長く伸びる八本の足は「末広がり」や「長寿」を表しています。また物陰をすり抜ける姿から【おくとパス】として試験合格の意味もあるそうです。

そして、二枚貝の蛤は「和合」や「円満」、流水紋様は厄を流すとして「厄除け」、青色は気学では「発展」を表すなど、開運要素が盛り沢山となっております。お参りの際はお手にとって勢いよく振ってみてください。





# 日蓮大聖人の言葉から学ぶ

みようもんみようり こんじよう  
名聞妙利は今生のかざり

がまん へんしゆう ごしよう  
我慢偏執は後生のほだしなり

【持妙法華問答抄】

現代社会に於いて名声や名誉は誰もが欲しいと思うものであり、それを得たことで自分が偉くなったと錯覚し、傍若無人に振る舞う姿は世間から非難されることがあります。

また、他の意見を聞かず、他者の成功を妬む心は自身を束縛するものにしかありません。

日蓮大聖人は世間の名声や権力、金銭や財産は今生の飾りとはなっても、欲望に支配された人は豊かな心の財を失い、成仏の妨げになるとこれを戒めています。

慢心を恥じ、感謝と思いやりの心を持つことこそ正しい心の姿であると言えるです。

## 七月以降の年中行事

○孟蘭盆施餓鬼大法要

八月五日（土）

○秋季彼岸会法要

九月二十三日（土）

○宗祖日蓮大聖人御会式

十月十二日（木）

○開運大黒天祭

七月五日（水）

九月三日（日）

十一月二日（木）

○開運妙見大菩薩御開帳

毎月一日

### 茶坊主の 小屋

●境内の立木が伸び放題だったので庭師に剪定してもらったのだが、一週間ほどで新芽が伸びてきてしまった。どうやら剪定の時期を間違えてしまったらしい。  
境内の植物にもう少し理解が必要である。



第6号は令和5年冬発刊の予定です

発行



HONSENJI

日蓮宗 妙福山 本泉寺  
埼玉県八潮市二丁目1472-1



TEL:048-996-9843

FAX:048-999-1884

mail:info@honsenji.jp